



総合子ども学研究所の取り組み



本研究所では、これまで地域連携の公開講座を年2回（春・秋実施）、保育や教育に関する映画の上映会（敬愛フェスタ）、コミュニティカレッジさくらへの協力・講師派遣を行ってきました。夏には毎年山王小学校の児童への学習サポートを行う「好学チャレンジ」でいつもと違う賑わいがありました。夏休み子ども向け講座も長く続いてきた小学生向けの公開講座です。毎年多くの小学生が参加し、楽しみにしてくれています。佐倉市・八街市の教育委員会が主催する通学合宿も、子どもたちが異年齢、他校の仲間と

一緒に生活しながら通学するという意義深い体験学習です。本学の初等教育コースの学生、時には敬愛大学の教職を目指す学生も参加し、生活の世話や学習のサポートを行うプログラムです。

これらの事業はすべて、新型コロナ感染拡大の状況の中で、教育委員会の意向も受け、安全を優先させ中止といたしました。次年度は、状況が改善し、またにぎやかな声が届く夏となり、地域の方々や保育・教育・福祉に関わる皆様と一緒に学べることを願っております。



コロナ禍における高大連携の模索

高校が授業を再開してからは、いくつかの高校の依頼を受けて、本学の出前講座を提供しました。講座の際の座席を離す、直接手を触れない、活動の初めと終わりに手指消毒を徹底するなどには日常になりました。



間隔を空けた指定席



四街道北高校特別講座「リトミック」（岡崎・二見）



横芝敬愛「身近なもので運動あそび」（村瀬）

今年度実施の出前講座

安房高校「教員基礎コース特別講座」（齋藤）
館山総合高校「SPH 特別講座」（村瀬）
我孫子高校「教員基礎コース夏期講座」（学長）
浦安高校「探求ゼミ」（久保木）
東金商業（吉村）、四街道高校（大野） 他

次年度の総合子ども学研究所の講座は適時ホームページでご案内しますのでご確認ください。なお、出前講座や講座の企画・講師派遣の依頼のご相談は電話で受け付けています。

総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 9

発行日：2021年3月20日
http://www.chibakeiai.ac.jp

〒285-8567 千葉県佐倉市山王 1-9
TEL. 043-486-7111（代表）



——教育・保育の敬愛

千葉敬愛短期大学

総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 9

本研究所は、「子ども」を様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的として設置されました。



敬天愛人～70年の歩み



2020年11月22日、70周年を迎えた本学の創立記念行事がオンラインで行われました。70周年を迎えることができましたのも、地域の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

当日は「敬愛70周年からの伝言」～自分を愛するように人を愛する～の上映、千葉市長 熊谷俊人様、国立青少年教育振興機構理事長 鈴木みゆき様、鳥取県在住保育士 第3期絵本専門士 内田大樹様をお迎えし、明石要一学長の司会により「20年後を見据えた保育者養成を考える」というパネルディスカッションを行いました。

熊谷市長からは、ご自身の子育てのエピソードを交えて千葉市で行っている男性保育士活躍推進プランについて、絵本専門士養成の基礎を作られた鈴木様からは絵本と絵本活動について、絵本専門士の内田様からは男性保育士の働き甲斐について、それぞれのお立場

から20年後を見据えた保育者養成について語っていただきました。

本学へは「教育拠点になってほしい」「先駆者になってほしい」、男性保育士を目指す方へは「臆することなく頑張ってほしい」という期待や、「情熱なくては保育はできないが、情熱だけでも保育はできない」など数多くのメッセージをいただきました。



敬天愛人

本学は「敬天愛人」を建学の精神として掲げる全国でただひとつの学園。教育者にふさわしい人間性の陶冶を目指しています。



けいたんの冒険のあらすじ

流れ星に乗ってやってきた丸い目をしたかわい
い子「けいたん」が「らくだ山」に落ちてきて、
離れ離れになったママを探しに絵本の世界の旅を
します。

そんなときに友達になった紫色の「えっへん」は
本が大好き。物知りですが少し怒りんぼうなところ
もあります。水色の「おっほん」は発明が好きでおっ
ちょこちょい。自分が兄さんだと主張します。ママ
は、絵本を読むのも歌を歌うのも上手。寝かしつけ
るときに読んだ絵本を閉じたら消えてしまった「け
いたん」を探しています。冒険の旅の中で出会う「木
のおじさん」は絵本の森のクスノキです。みんな
の成長を見守る老賢者。

愛と希望と勇気を知れば、ママに会えると教えて
くれます。

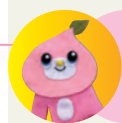


「えほんのもりにおいでよ～♪けいたん♪の冒険～」 CD 製作秘話トークショー



バックの音楽の長さに関
わらせて8役のキャラク
ターになって会話をする
シーンが大変でした。で
も本番は一回で OK にな
りました！
(岡崎裕美教授)

「手をつなごう」は敬天愛
人をイメージして作りま
した。実は駅から学校ま
での途中の橋の上での鼻
歌から始まりました…。
(大野雄子教授)



70周年記念行事のフィナーレ

医療従事者や保育・教育・福祉職の皆様に向けた応援メッセージの手話動画

「手をつなごう」手話動画について

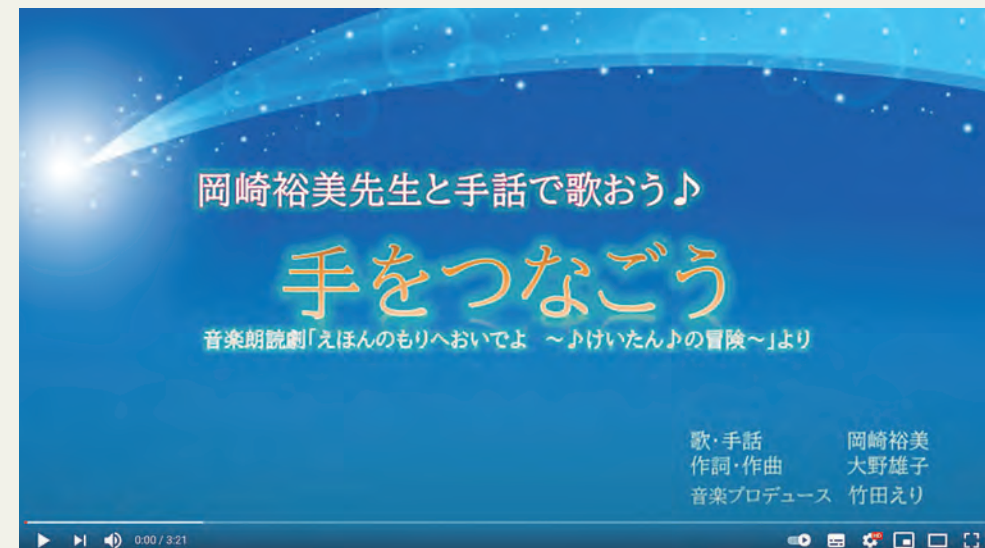
「手をつなごう」は、70周年を記念して大野雄子教授の作詞作曲に
より製作された「えほんのもりにおいでよ～♪けいたん♪の冒険～」
CD 中の 1 曲です。

医療従事者や保育・教育・福祉職の皆様に向けた応援メッセージと
して岡崎裕美教授の手話指導のもと、本学の教職員と学生有志が手話で
歌っています。医療従事者はもとよりすべての皆様に向けて「一緒に進
みましょう」というメッセージをお届けしたい思いで作成しました。

本学ホームページでも掲載しています。



「手をつなごう」手話動画



記念すべき 70 年の節目の年に、
この学び舎で友と出会えたことは奇跡であり、
多くの先輩たちが築き上げてきた
千葉敬愛短期大学の歴史の 1 ページに
いることを誇りに思います。

しかし、2020 年は世界中が
コロナウィルス感染症による
大きな不安と直面することになりました。

その中で、日々大切な命と向き合い、
力を注いでくださった医療従事者のみなさま、

子どもの安全を確保してくださった
保育者・教育関係のみなさま、

人を想い、社会を支えてくださいました
多くのみなさまに
心からの感謝とエールを
送らせていただきます。

千葉敬愛短期大学学生一同



♪ 光が誰にも優しく降り注ぐように ♪



♪ くじけない、手を取り合えば
君の夢もきっと叶う ♪



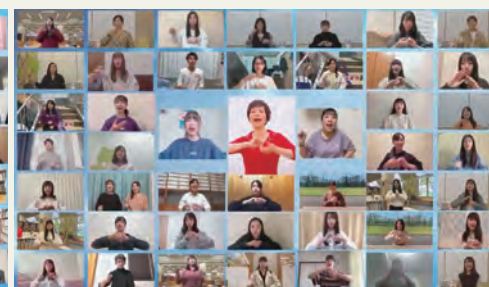
♪ 手をつなごう、手をつなごう
仲間を信じて ♪



♪ 誰にも優しくなれる、
愛と希望と勇気があれば ♪



♪ 手をつなごう、手をつなごう、
新しいあしたに ♪



♪ さあ、未来に続く扉が
きっと開く時が来る ♪



♪ 泣かないでどんな時も
夜明けの来ない夜はない ♪



♪ 君の笑顔があれば何も怖くはない ♪



♪ えほんのもりにおいでよ ♪